

(様式2)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	4	学校名	宇都宮市立陽南中学校
-----	-----------------	------	---	-----	------------

令和4年度 学習指導に関する取組

1 学習指導上の主な実態

(1) 国・県・市の学力調査などから

- ・全国学力学習内容調査では、平均正答率が、「話すこと・聞くこと」の分類で3.8ポイント下回っているが、「内容を理解する問題」では、全国平均を5.4ポイント、「相手や場に応じて敬語を適切に使う問題」では、全国平均を6.2ポイント上回っている。
- ・とちぎっ子学習状況調査では、全教科で市や県の平均をすべての領域、観点で下回っている。特に社会、数学、理科では9～10ポイント低くなっている領域、観点等が見られ。
- ・学習内容定着度調査では、国語、社会は市平均とほぼ同じかやや下回っている。他教科は市の平均より低い。領域別でも観点別でも5ポイント程度低い項目が多く見られる。

(2) 国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

- ・学習内容定着度調査の生徒質問紙では、「勉強が好きですか。」という質問に対して1年生、3年生では肯定的な回答が市の平均を上回っているが、2年生では5ポイント近く下回っている。「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。」という質問に対して1年生3.6ポイント市の平均を上回っているが、2年生では5ポイント程度、3年生では10ポイント程度下回っている。「教科などの学習は、将来のために大切だと思いますか。」という質問に対して、各学年で肯定的な回答は市の平均とほぼ同じである。「新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。」という質問に対しては、肯定的な回答は1年生で2.5ポイント、2年生では9.4ポイント、3年生では11.1ポイント市の平均を下回っている。1年生においては家庭学習の充実が身につき始め、学習には意欲が見られるようになってきた。さらに継続指導することで、くり返して練習することの大切さを理解し、取り組めるようになってくると考えている。

平日の家庭学習について「1時間30分以上」学習している1年生は55.0%で市平均よりも3.5ポイント上回り、「2時間以上」学習している2年生は26.1%で市平均より5.2ポイント、「2時間30分以上」学習している3年生は42.2%で14.4ポイント下回っている。「ほとんどしない」生徒が全学年で市の平均を上回っている。特に2年生で5ポイント近く他学年より多くなっている。さまざまな質問から家庭学習が十分でないことがうかがえる。

(3) 授業等への取組状況から

- ・学習内容定着度調査の生徒質問紙では、「授業の始まりには席についている」に対する肯定的な回答は95ポイントとなっており、落ち着いた雰囲気の中で授業が進められている。100%に近づけるため、今後も指導を継続していく。「自分の考えを、根拠をあげながら話す

ことができる。」に対しては、各学年とも市の平均より低くなっている。論理的に考え発表することを苦手とする生徒がやや多いと思われる。「授業を集中して受けている。」に対しては学年が上がるほど市の平均を下回っている

2 今年度の重点目標

- (1) 学習意欲・主体性の向上
- (2) 思考力・判断力・表現力の育成
- (3) 教師の授業力の向上
- (4) 落ち着いた学習環境の維持
- (5) 家庭学習の充実

3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に★、「令和4年度指導の重点」に関する取組は文頭に□、授業における取組のうち重点は文頭に○）

- (1) 学習意欲・主体性の向上
 - 各教科における基礎・基本の確実な習得（通年）
 - ・基礎的・基本的事項の理解や定着を目指し、繰り返し指導する。（通年）
 - ・国語科では、漢字テストを継続し、「読み」「書き」の定着を図る（通年）
 - ・数学科では、小テストやA I ドリルを活用し、基礎的な技能の習得を図る。（通年）
 - ・英語科では、小テストや単語練習を繰り返し行うことで、語彙の定着を図る。（通年）
 - わかる授業やできる喜びが持てる授業の工夫（通年）
 - ・数学科、英語科における少人数学習や習熟度別学習による定着度に応じたきめ細やかな指導の実践（随時）
- (2) 思考力・判断力・表現力の育成
 - 自分の思いや考えを表現する課題学習の場の設定と一人一人の意見を大切にしあえる集団づくりの醸成（通年）
 - グループでの学習や、学習したことを基に自分の考えを深める学習を充実させ、協働する力の育成（通年）
 - ・自分で考え、進んで行動する態度の育成（通年）
- (3) 教師の授業力の向上
 - ・教員相互の授業公開や参観を行う授業力向上研修（6月～10月）
 - タブレットなどのI C T機器の効果的な活用法の研究と授業の実践（随時）
 - ・定期的な教科部会による共通理解と各教科の研究課題に迫る指導の実践（随時）
- (4) 落ち着いた学習環境の維持
 - ・各教科における授業の約束の設定と指導（通年）
 - ・学習環境の整備（通年）
 - チャイム前着席、チャイム開始の授業規律の維持（通年）
 - ★読書活動の推進（通年）

(5) 家庭学習の充実

- ★スタンダードダイアリーを活用した家庭学習の記録の蓄積と自主学習指導の充実の確認や見直し（通年）
- ・学習計画を立てさせたり，時間の使い方や家庭学習（自主学習）の仕方を指導したりすることによる，家庭学習を促す働きかけ。特に定期テスト前には，質問教室を放課後に設定するなどし，家庭学習の支援を行う。